

令和7年度全国学力・学習状況調査 半田市の調査結果について

半田市教育委員会

令和7年4月17日（木）に実施された全国学力・学習状況調査の結果について、文部科学省より通知がありましたので、概要をお知らせします。半田市教育委員会では、調査結果を踏まえた改善策を進めてまいります。保護者の皆様におかれましてもご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

1. 調査の内容

- （1）目的…全国の小学校6年生・中学校3年生を対象に学力や学習状況の調査を行い、その結果を把握・分析し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- （2）内容…教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
生活習慣や学習環境等に関する質問調査

2. 教科に関する調査の結果

お子様の結果につきましては、各学校より個票を配付させていただいております。結果は、あくまでも学力の特定の一部ではありますが、得意な領域や不得意なことがらを知っていただき、今後の学習に生かしていただきたいと思います。

3. 生活習慣や学習状況等に関する質問紙調査の結果

学習状況について、よい傾向や改善を図りたい項目は以下のとおりです。

（1）よい傾向

- ・読書が好き。
- ・ICT機器を使って文章を作成することができる。

（2）改善を図りたい項目

- ・学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている。
- ・学校の授業時間以外の勉強時間。
- ・学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

4. 平均正答率の高い児童生徒にみられる学習状況

教科や質問紙調査から、平均正答率の高い児童生徒がどんな生活をしているのか、また、どんな姿勢で学習に臨んでいるのか、傾向を調べました。その傾向から望ましい生活習慣や学習に対する姿勢について、以下のように提案します。

○学習に取り組む姿勢

- ・分からないことや詳しく知りたいことがあった時は、自分で学び方を考え、工夫してみよう。
- ・問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えよう。
- ・考えを発表する時には、うまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫しよう。
- ・友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組まよう。

○基本的な生活習慣

- ・朝食を毎日食べ、決まった時間に就寝・起床するなど規則正しい生活をしましょう。
- ・ICT機器は時間を決めて使用し、長くなりすぎないようにしましょう。

5. 子どもたちがよりよく生きるために

半田市教育委員会ではキャリア教育を推進しています。自分のよさに自信がもてるようにするとともに、学習意欲の向上、学習習慣の定着を図ります。「幼保小中一貫教育 HANDAプラン」に基づいて、幼稚園・保育園、子ども園、小学校、中学校の教職員が一貫した考えでキャリア教育を推進し、子どもたちがよりよく生きるために必要な4つの力「キャリアA・B・C・D」を育むことで、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」を実現します。

※キャリアA・B・C・Dとは

Action (アクション)：課題解決に向けて行動する力

Believe (ビリーブ)：自分のよさを信じる力

Communication (コミュニケーション)：人間関係を形成する力

Dream (ドリーム)：夢を育む力